

April 2025

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

春号

2025
Spring





土器編④

器や石器について知ろう！



前回の号では、弥生時代の土器の特徴や、市内で出土した弥生土器について解説しました。今回は、しっかりと形の残る状態で埋蔵文化財センターに展示されている、弥生～古墳時代の土器を種類別に紹介します。ぜひ、実物を見にきてくださいね！

あなたの推しはどれ！？ 弥生～古墳時代の土器総選挙

投票受付中

Entry No.1

つぼ
壺

手の込んだ文様！



約36cm

まりこ
「丸子式」と呼ばれる東海地方の土器。渋沢遺跡からはほかにも甕なども見つかった。

しごきわ
渋沢遺跡出土

Entry No.2

つぼがたどき
壺形土器

口縁に注目！



約37cm

食料や水などの貯蔵に使われていたと考えられる。水稻農耕が始まる弥生時代に普及した。

つきのわうえ
月の輪上遺跡出土

Entry No.3

かめ
甕

整ったフォルム！



約15cm

外側には煤が付いていて、煮炊きに使われたと考えられる。

まるがいと
丸ヶ谷戸遺跡出土

Entry No.4

かん
埴

シンプル！



約9cm

埴は、訓読みだと「つぼ」。口縁が広く開いた形をしている。

たきど
滝戸遺跡出土

Entry No.5

だいつきがめ
台付甕

高いデザイン性！



約18cm

煮炊きに使われていた甕の底に脚台が付いた形の土器。脚を付けることで熱効率が高まった。

いずみ
泉遺跡出土

Entry No.6

たかつき
高坏

絶妙なバランス感！



約16cm

食べ物や神事の供物を盛る土器。

なんぶがやと
南部谷戸遺跡出土

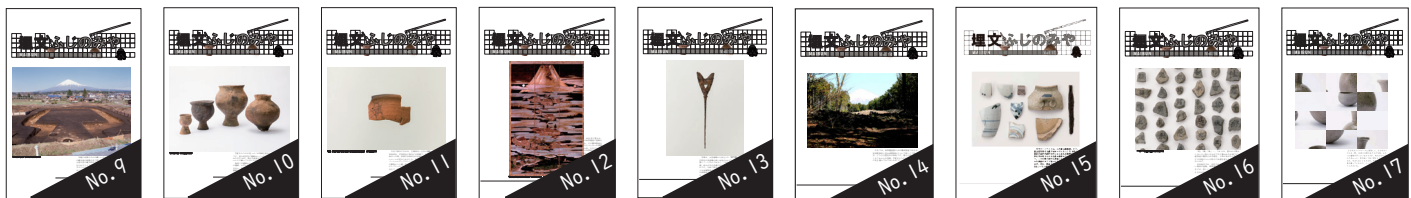
2025 春号のプレゼントクイズ！

どこにある？

今回は、完形に近い美しい土器を紹介しました。これらのうち、No. 1, 2, 6 は埋蔵文化財センター展示室で公開しています。実際にひとつ以上見つけて、職員に「ここにあるよ」と教えてください。埋蔵グッズを差し上げます。

バックナンバー

これまでの『埋文ふじのみや』は富士宮市のホームページでご覧になれます。



to be continued...

富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315 静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室 平日

開館日 * 祝日及び年末年始(12月28日～1月3日)は休館

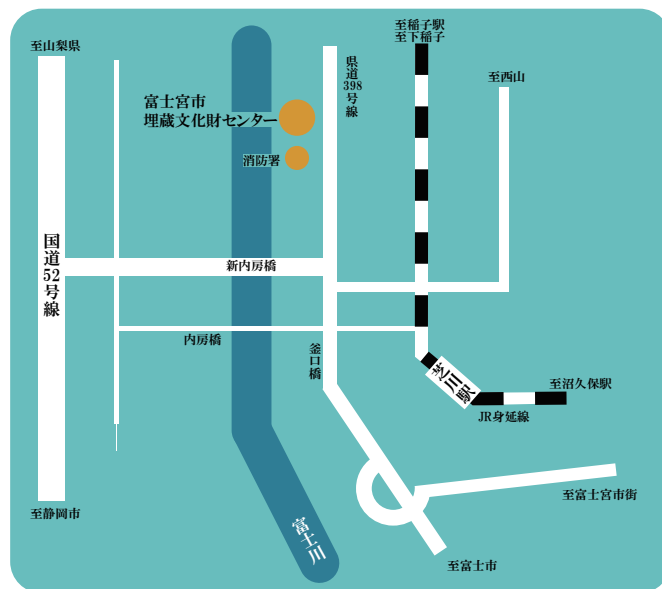
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり(無料)

※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより

もぐらの はなし 春号 (通算 vol.28)

令和7年4月

編集/発行 富士宮市埋蔵文化財センター